

<吹田市>

1. 各市町村の学校図書館に関する具体的方策や、行政からのサポートについて

小学校

- ・第2図書室(低学年用図書室)の設置(全小学校)

- ・読書活動支援者の配置(1校に1名配置)

中学校

- ・読書活動支援者の配置(2校ないしは3校に1名配置)

2. 学校図書館関係の組織の形態と活動について

吹田市小学校教育研究会 学校図書館部

部長：吹田市立山田第二小学校 野谷好江教諭

活動：月1回(第3水曜日が多い)午後

- ・三島地区のSLAに関する活動
- ・年間計画による活動
- ・読書感想文コンクールの地区審査

吹田市中学校教育研究会 学校図書館部

- ・図書担当者会議を開催
- ・三島地区学校図書館協議会関連の活動

3. 各市町村の学校図書館の具体的な活動例

- ・休み時間、放課後の図書館開館
- ・週1時間図書の時間の割り当て(小学校)
- ・地域、保護者、ボランティアによる絵本の時間

読み聞かせや蔵書の整理、本の修理(各学校単位)

- ・図書委員会活動や児童集会での発表
- ・図書だより配布

4. 学校図書館に関して、特徴的なこと

小学校

- ・従来の図書室の他、1教室分の広さで低学年用図書室が全小学校に設置。活用の仕方は学校によって異なる。必要に応じて、読み物教室・調べものの教室にしている学校もある。
- ・吹田市各校の蔵書数について、図書標準冊数を達成している。
- ・公共図書館の小学校向けのサービスとして「もうようんだかな」セット(図書館おすすめの本のセット)を1学期間、学校に学年毎に貸し出しをしている。また、団体貸し出しとして自動車文庫を利用した「配送便」を月に1回。たくさんの学校が利用している。利用が多い月は「臨時便」も運行

されている。

中学校

- ・公立図書館との連携(団体貸し出し・配送便利用)

<摂津市>

1. 各市町村の学校図書館に関する具体的方策や、行政からのサポートについて

小学校

- ・全小中学校に司書教諭1人以上配置
- ・小学校10校に読書サポーターを配置

中学校

- ・5校に教育活動支援員の配置(各校1名)

2. 学校図書館関係の組織の形態と活動について

小学校 市教研学校図書館教育部会

(代表：摂津市立味生小学校 森岡 由紀)

- ・月1回会議
- ・1月に読書感想文コンクール審査会、賞状の配布 その際に特別賞として摂津市民図書館長賞を設けている。

3. 各市町村の学校図書館の具体的な活動例

小学校

- ・市教研にて実践交流と授業研究、発表。

4. 各市町村の学校図書館に関して、特徴的なこと

小学校

- ・小中学校の各校に1名非常勤職員のサポーターを配置している
- ・市独自の「読書ノート」の取り組み
- ・各校図書館担当者と読書サポーターの交流を年2回実施

中学校

- ・読書活動推進サポーター間での交流のもとに、図書館運営、図書だより等の活動の充実と、生徒への啓発に取り組んでいること。

<茨木市>

1. 各市町村の学校図書館に関する具体的方策や、行政からのサポートについて

- ・学習サポーターとしての図書支援員を全校配置
- ・市主催司書教諭対象図書館教育研修会実施
- ・図書館部研究授業は市主催の司書教諭連絡会との共催で実施
- ・物流システム（市立図書館・各学校間）
- ・「茨木市図書館を使った調べる学習コンクール」の実施

2. 学校図書館関係の組織の形態と活動について

茨木市教育研究会 図書館部会

- 5月 市教研総会 年間計画
- 6月 三島地区図書館協議会総会・夏季研修会
- 9月 市 読書感想文審査会
- 10月 三島地区図書館協議会・秋季研修会
- 12月 市 読書感想文審査会
- 3月 各校の図書館教育取組集約
各校代表読書感想文
研究授業
活動報告まとめとしての冊子

3. 各市町村の学校図書館の具体的な活動例

- ・休み時間の図書館の開館
- ・新刊図書受け入れ
- ・図書委員による読み聞かせ
- ・読書週間の設定・実施
（学校図書館を利活用した授業、読書活動を豊かにするための実践）
- ・研究授業・研究討議会
- ・図書の整理
- ・調べ学習

4. 各学校図書館の蔵書管理方法について

- ・図書館管理ソフト「探調ツール DX」による蔵書管理
- ・相互検索による蔵書検索

5. 学校図書館に関して、特徴的なこと

- ・各校の蔵書をデータ化し、オンライン化することで相互検索ができる。
- ・物流システムにより、市立図書館を含み相互貸し出しができる。
- ・市立中央図書館の協力により、書庫保管の蔵書を学級単位で数百冊借りることができる。
- ・全校に絨毯敷の第二図書室が完備されゆったりと本を読むスペースが確保されている。
- ・従来から図書館教育の研究を熱心に行い、

府や三島地区の図書館協議会でも多数報告するなど、実践発表も積極的に行っている。

- ・H26年度より図書館支援員（R2より学習サポーター）が全校配置され、司書教諭と連携し、図書ボランティア活動の活性化、図書の環境整備の充実が図られている。
- ・「レッツチャレンジ学校図書館を活用した『学び方』の手引き」の冊子を活用し、調べ学習等の図書を活用したワークの実践を行っている。

6. タブレット導入

- ・R2年度 一人一台タブレットの設置、教員研修等の準備期間 タブレット内にミライシート導入
- ・R3年度より一人一台タブレットを活用した授業の開始
- ・市教委中心に「タブレット活用の手引き」作成

<高槻市>

1. 各市町村の学校図書館に関する具体的な方策や、行政からのサポートについて

小学校

- ・高槻は各小学校に市費で読書活動協力員を各校に一人配置し 20分休みと昼休みの開館中心の業務を行う。週に一度中学校区に配置された学校司書が小学校で業務にあたる。

中学校

- ・中学校区に学校司書がR6.6より配置（週4回）

全体

- ・公立図書館の事業として「まちごと子ども図書館」（各校への長期貸し出し。約200冊）を行っている。調べ学習への利用を目的とした「テーマ別セット貸し出し」や「団体貸し出し」がある。
- ・高槻市の図書館協議会に学校関係者代表として2名が委員として参加。公立図書館の事業が学校図書館の活用や活動に効果をもたらすものとなるように意見を述べ、協議をしている。

2. 学校図書館関係の組織の形態と活動について

全体

- ・司書教諭連絡会、学校司書連絡会が市の主

催で開催される。

- ・市内小中学校全校から、協議員が選出され、**学校図書運営協議会**を組織している。校長会・教頭会からの役員と教育委員会事務局と公立図書館の担当者も総会や部会には参加している。

「事業部」「図書館教育部」「運営・管理部」と三部会に分かれて、一年を通して活動をしている。

各部の主な活動は下記の通り。

《事業部（第一部会）》

- ・大阪SLA、三島SLA関係の事業担当。
- ・高槻市読書感想文関係の担当。大阪府読書感想文コンクールならびに読書感想画中央コンクールの地区予選の審査運営業務を担当。
- ・高槻市読書感想文コンクール(審査・表彰)の企画、運営、冊子のまとめ等を担当。

図書館教育部（第二部会）

- ・子ども達への読書指導に対して課題を掘り起こし、課題解消のための取組を交流、発信。
 - ・市内学校図書館見学、講演会の企画、運営。
 - ・お勧め図書ガイドの作成。
(見学、講演、ガイド作成は、毎年ではない)
- 運営・管理部（第三部会）
- ・学校図書館の管理、運営についての改善
(授業で図書館を活用する時の悩み・困りごと、災害時対応、調べ学習のスキル育成など)
 - ・司書教諭、公立図書館との連携

3. 学校図書館の具体的な活動例について

小学校

- ・全学年で図書の時間には本の読み聞かせや本の紹介、貸し出し、返却を行っている。
- ・週4日開館し、20分休みや昼休みに貸し出し返却をしている。

中学校

- ・学校司書がいる日に、貸し出しや返却。総合や特活での調べ学習。

全体

- ・学校図書館内の図書の貸借だけではなく公立図書館との仲介も行い、読物の選書や調べ学習の資料などの管理と貸出をする。

4. 学校図書館に関して、特徴的なこと

全体

- ・小中学校全校で蔵書基準値達成している。
- ・公立図書館との連携が強く、調べ学習の充実に向けて、セット貸し出し等の改善が毎年行われている。

- ・「シン・百万冊計画」として、5か年にわたって市から予算が組まれ、学校図書館の充実に向けて選書・廃棄を行っている。

<島本町>

1. 各市町村の学校図書館に関する具体的方策や行政からのサポートについて

小学校図書館担当職員（計4名）H30.9～

中学校図書館担当職員（計2名）

2. 学校図書館関係の組織の形態と活動について

図書教育部会 令和6年度 研究目標

「授業で図書館や図書を活用し、児童・生徒が図書に親しむ機会の増加や図書館教育の活性化を図る。」

5月 令和6年度 研究テーマ決定

6月 島本町夏季セミナー分科会報告について 研究テーマ・活動の内容について

7月 各校の取り組み交流

9月 大阪府読書感想文コンクール島本町審査会

10月 各校の取り組みの交流

1月 本年度のまとめ・次年度について

3. 各市町村の学校図書館の具体的な活動例

小学校

- ・学期ごとの読書週間の実施
- ・児童による本の紹介カード作成の取り組み
- ・図書館専属職員による読み聞かせ
- ・ビブリオバトル
- ・学校行事に合わせた調べ学習への対応
- ・図書や図書室を使って調べ学習
- ・地域ボランティアによる読み聞かせ
- ・「読書ノート」の取り組み
- ・図書室を使った授業
- ・教科との連携

中学校

- ・学期ごとの読書週間の実施
- ・読書月間の実施
- ・教職員による本の紹介カード作成
- ・生徒委員会（図書委員会）による、ブックフェア
- ・校外学習での事前調べ学習
- ・「読書の木」の取り組み
- ・shima 2 bookmark
(教師によるお薦め図書の紹介を冊子にしたもの)

4. 各市町村の学校図書館に関して、特徴的なこと

- ・町内全校で図書室を利用した授業の計画的運用を開始。
- ・学校図書館専属職員が配置され、司書常駐（小学校・中学校）が定着した。参観・学校公開時には来校者の入室見学を実施している。
- ・地域ボランティアによる読み聞かせ活動が充実している。
- ・公立図書館との仲介も行っている。
- ・図書館支援員連絡会が、島本町教育委員会主催で行われている。

【三島地区 読書感想文 読書感想画】

- ・感想文、感想画ともに各地区において審査を行っている。すべての地区が参加
- ・感想画については、R6 年度は、茨木市、高槻市が実施

【三島地区学校図書館協議会の研究活動とコンクールについて】

《研究活動》

6 月 「夏季研究会」において柳田典子氏の講演

11 月 「秋季研究会」高槻市からの発表と三島全体での交流

3. 運営事業について

《運営事業》

『総 会』 今年度の役員、事務局、予算案、事業計画案の承認

『役員総会・地区役員会』 活動内容、予算修正 会則について